

地域貢献への取り組み

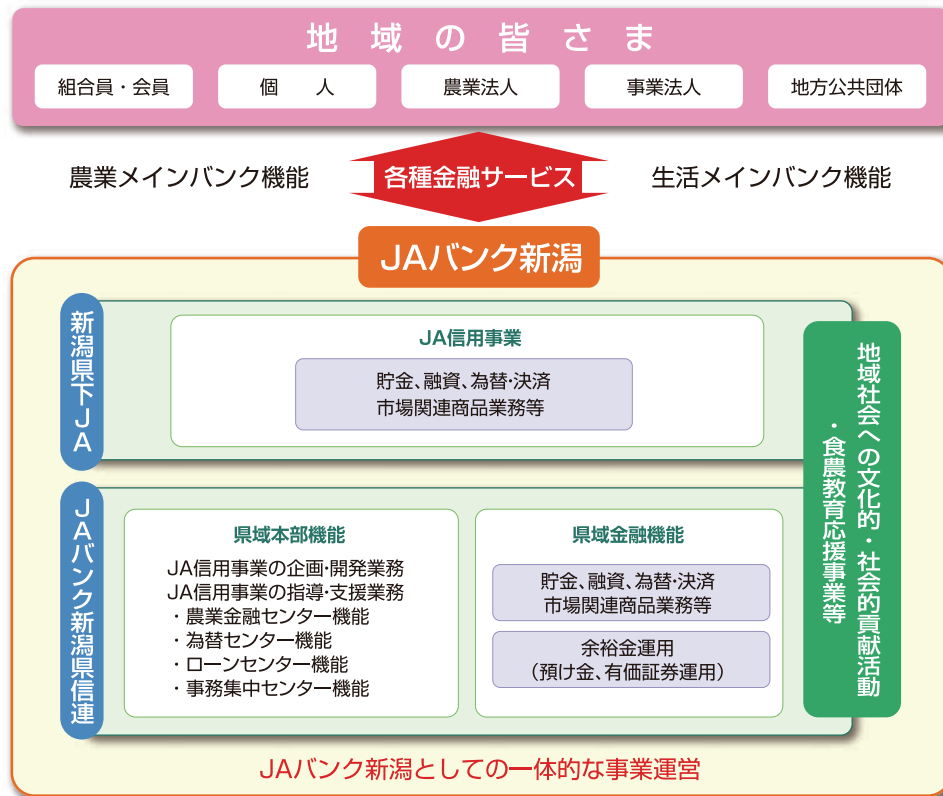
当会は、新潟県を事業区域として、県内のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を原資としています。当会では資金を必要とする農家組合員の皆さまや、JA・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいています。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

■ 地域経済への貢献



地域からの資金調達(平成26年3月末)

■ 貯金残高(単位:億円)

県下JA計		JAバンク新潟県信連	
区分	残高	区分	残高
組合員	16,917	組合員	14,261
地方公共団体等	877	地方公共団体等	44
その他	3,398	その他	232
合計	21,193	合計	14,539

地域への資金供給(平成26年3月末)

■ 貸出金残高(単位:億円)

県下JA計		JAバンク新潟県信連	
区分	残高	区分	残高
組合員	4,345	組合員	557
地方公共団体等	957	地方公共団体等	398
その他	501	その他	1,135
合計	5,803	合計	2,091

※貸出による地域への資金供給のほか、新潟県債、新潟市債の引受により地域の発展に貢献しています。

■ 地域密着型金融への取組み(中小企業等の経営改善および地域活性化のための取組みを含む)

JAバンク新潟(当会および県下JA)では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク新潟中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

農業メインバンク機能強化への取組み

■ JAバンク新潟の農業資金

JAバンク新潟では、農業者向け資金を幅広くご用意し、新潟県農業の発展を多面的に支援しています。

担い手に対する金融面での支援強化として「担い手支援資金(愛称:アグリ1)」の取扱い継続や団信付農機具ローンの創設を行うとともに、全国組織と連携した担い手向け各種ファンドの取扱いなど多様なニーズにお応えしています。

平成25年の豪雪により被害を受けられた方への対応として「平成25年豪雪災害等復旧支援資金」を創設、平成25年4月の暴風被害および平成25年7月の豪雨被害についても本資金でいち早く対応し、農業専門金融機関として被害からの復旧復興を支援しています。

また、JAグループ新潟では、上記資金をはじめとする農業者向け資金の一部に対して利子補給事業を実施し、農業者の実質金利負担の軽減を図っています。

さらに、「農業法人経営者セミナー」の開催や関係団体、営農指導部門との連携強化により、新潟県における農業メインバンクとして、農業者の皆さまを幅広く支援しています。JAバンク新潟では、農業者向け資金を幅広くご用意し、新潟県農業の発展を多面的に支援しています。



(平成26年3月末現在)

主な資金	当会および県下JAでの取扱い		資金の内容
	件数	残高(百万円)	
農業生産資金	1,034	2,993	農業経営の合理化を図るために必要な資金
アグリマイティー資金	3,097	15,746	農地取得等、幅広い資金用途に長期に対応できる資金
農業近代化資金	556	5,677	機械・設備の取得等、農業経営の近代化を図るために必要な長期資金
農機具ローン	5,881	8,119	農機具の購入等に必要な資金
担い手支援資金(愛称:アグリ1) (23年度までは担い手支援対策資金)	1,446	3,400	担い手に対する農業生産に直結する設備・運転資金
平成22年度 緊急農業経営安定対策資金	877	628	平成22年産米の猛暑等による品質低下等に伴う経営の安定化に必要な資金
平成23年 地震災害等復旧支援資金	150	259	長野県北部を震源とする地震等による被害に対応し、経営の早期再建に必要な資金
平成24年 豪雪災害等復旧支援資金	173	203	平成24年の豪雪災害(暴風被害含む)による被害に対する復旧に必要な資金
平成25年 豪雪災害等復旧支援資金	13	13	平成25年の豪雪災害(暴風被害、豪雨被害等含む)による被害に対する復旧に必要な資金
スーパーL資金	1,386	9,011	認定農業者が経営改善に必要な長期資金
にいがたアグリビジネスローン	44	338	農業法人、農業関連法人の経営に必要な資金
農業関連事業資金	9	836	会員等に対する農業関連の事業資金
農業関連系統当座貸越	4	36,337	農産物販売代金の支払資金
その他農業資金	2,671	7,259	農家の再建を支援する資金等
合計	17,341	90,826	

地域貢献への取り組み

☐ 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク新潟では、地域の農業者との関係強化を目的とした体制整備に取り組んでいます。

当会では、農業部を中心に「県域農業金融センター機能」を構築し、JAの指導・サポート機能と農業法人等への融資相談機能を併せ持つことで、一元的な取り組みを進めています。JAの体制整備や人材育成を支援するとともに、JAと連携した協調融資などにも取り組んでいます。

県内25JAでは、担い手への訪問・資金提案活動を中核的に担う「農業融資相談員」をJA本支店に106名設置し、そのうち50名が「担い手金融リーダー」として農業融資の実務リーダーとしての業務を担っています。

また、農業融資相談員等の相談対応力向上を目的に、JAバンク独自の農業融資資格制度である「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を進めており、平成26年3月末現在では県内225名が取得しています。



【農業融資相談員・担い手金融リーダーとは】

農家の皆さまや農業法人などへの農業融資に対応するために、各JAの営農部門および信用部門にそれぞれ設置されている相談員。平成17年からはさらに、農業融資相談員の中から「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資の実務リーダーとしての役割を担っています。

☐ JA内事業間連携の強化

多様な担い手のニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との連携を強化しています。当会では、JA新潟中央会やJA全農にいがた、JA共済連新潟とも連携して、営農・経済事業担当者を含めた合同会議や研修会を開催するなど、JA内における事業間連携の強化を支援しています。

〔具体的取組事例〕

●「第1回JA担い手支援推進集会」の開催（平成25年11月実施）

担い手への対応や出向く体制を強化し、JAにおける信用部門と営農・経済部門の連携の有効性・必要性の確認や情報交換を目的にJA新潟中央会、JA全農にいがた、JA共済連新潟と共催で実施しました。



第1回JA担い手支援推進集会

ライフサイクルに応じた担い手支援

☐ 新規就農者の支援

JAバンク新潟では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

☐ 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンク新潟では、農業者の経営再建を支援するため、「負債整理資金」をはじめとする負債整理のための資金を取り扱っています。

講演会・セミナーの開催

新潟県農業の担い手として活躍している農業法人等、大規模農業者の一層の発展に向けた経営安定化支援策の一環と、参加者同士の情報交換、ネットワークづくりの場を提供することなどを目的として平成19年度から「農業法人経営者セミナー」を開催しています。

第7回目となる平成25年度は、多くの農業法人の抱える問題である「次代を担う後継者の確保と育成」をテーマに、県外農業法人等より講師を招き、多くの法人組織、関係団体の皆さまからご参加いただきました。

セミナー名	第7回農業法人経営者セミナー
主催者	JAバンク新潟県信連
参加者数	約210名
講演内容	<p>【第一部】 「農業法人の継承に向けた人材育成について」 (独)農研機構・中央農業総合研究センター 上席研究員 迫田 登稔 様</p> <p>【第二部】 「次代を担う後継者の確保と育成について」 有限会社 木之内農園 代表取締役会長 木之内 均 様</p>



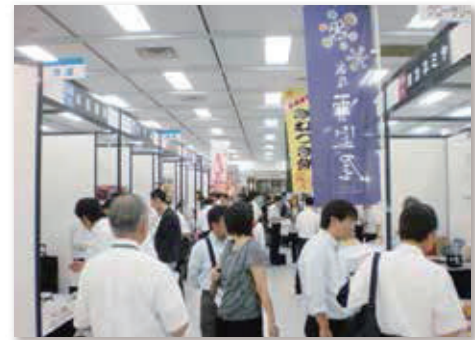
第7回農業法人経営者セミナー

農商工連携への取り組み

●「うまさぎっしり新潟・食の大商談会 2013」の開催

新潟県の農産物の販路開拓・拡大を目指し、新潟県や新潟県内の金融機関等と共催で、食品商談会を東京都内で開催しました。JAグループからは、JA津南町、JA佐渡のほか、当会お取引先の農業法人や企業からも出展いただき、多種多様で魅力に満ちた新潟の「食」をPRしました。

今後も、ビジネスマッチングの機会を提供するとともに、県内農産物の販路拡大への支援を通じ、新潟県農業および地域の活性化に貢献していきます。



盛況だった商談会会場の様子

●「Sole!にいがた」の発行

農商工連携を促進する一環として、フリーペーパー形式の情報誌「Sole(そーれ)!にいがた」を平成22年7月に創刊、年4回発行しています。

この情報誌では、県内の農業や産業に関する幅広い情報の提供により、「農」を基軸としたコミュニケーションを通して、農業生産者・JAグループと地域の企業、さらには広く地域の皆さまとの結び付きを強め、新たなビジネスチャンスを生み出すきっかけづくりを目指しています。

このたび、創刊から4周年を迎え、紙面をリニューアルしました。
※「Sole!にいがた」バックナンバーについては、当会ホームページでご覧いただけます。



県内のJA窓口や直売所、道の駅、スーパー等で配布しています。

地域貢献への取組み

経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

■ アグリビジネス投資育成株式会社等によるファンドの活用

JAバンク新潟では、お客さまの資金調達手段の一つとして、農業法人育成のための資本供与の仕組みである「アグリシードファンド」や「担い手経営体応援ファンド」による出資を提案しています。

平成25年度には、県内農業法人の資本調達ニーズに対応するため、「アグリシードファンド」で7百万円の出資、「担い手経営体応援ファンド」で30百万円の出資を実施し、これまで計3件の出資を実施しています。

■ 団信付農機具ローンの創設

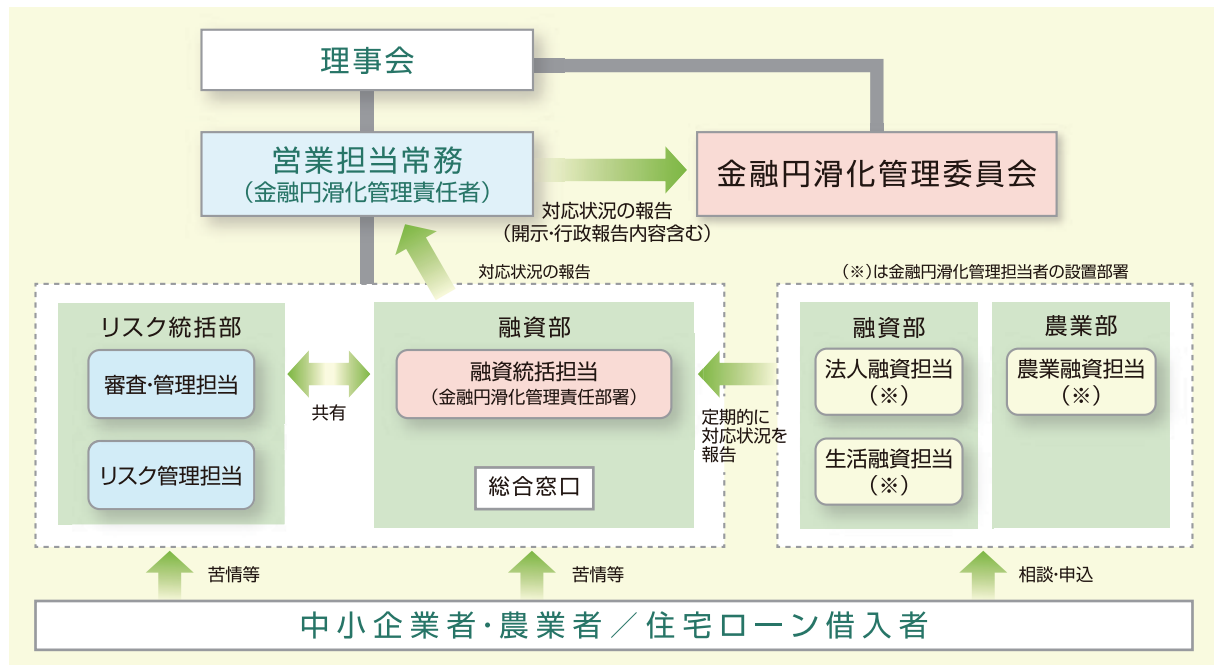
高齢化社会の進展に伴う定年就農者など多様な担い手への円滑な資金対応に向けて、団信付農機具ローンの創設を行いました。

■ 中小企業者等の経営支援に関する取組み方針

当会では、「金融円滑化にかかる基本的方針」を定め、経営不振の地場企業や農家等の経営改善に向けて関係機関や他の金融機関等と連携し、積極的に支援しています。

平成26年3月末までに、214件、8,075百万円の各種経営支援を実施しました。

■ 中小企業者等の経営支援に関する態勢整備



■ 「経営者保証に関するガイドライン」への対応

経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会および日本商工会議所が事務局)が平成25年12月5日に公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当会は、本ガイドラインを尊重し、遵守して取り扱うこととしています。

当会は、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに即した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

■ 文化的・社会的貢献活動(CSRの取組み)

当会は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の一員として、広く地域社会の発展と地域の皆さまの豊かな暮らしづくりを願い、文化的・社会的貢献活動に積極的に取り組んでいます。

公益信託「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」

高齢化社会の到来を踏まえ、高齢者に対する在宅福祉サービスの主な担い手であるホームヘルパーを支援・育成する活動に対し積極的に助成していくことを目的として、平成10年に「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」(信託財産1億円、平成25年3月に5千万円追加拠出)を設立しました。

この基金は、新潟県内の社会福祉法人やボランティア団体等を助成対象者とし、ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備等を対象としています。

第16回目となった平成26年4月の贈呈式では、県内の社会福祉法人等13団体に約628万円の助成金を贈呈しました。

※助成実績累計:182団体、約9,202万円



第16回贈呈式

「エコ定期貯金」の受入を通じた、環境保全団体への寄付金の贈呈

平成23年度より、農業の振興を通じた「環境保全」の推進の一環として実施している「エコ定期貯金」は、環境意識が高まるなか、貯金の受入を通じてお客さまの間接的な環境保護への参加を支援することで、郷土の自然環境保護に貢献することを目的としています。

多くの皆さまから、趣旨にご賛同いただいた結果、平成25年度は1,994,657円を公益財団法人「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」に寄付することができました。

また、この取組みに対して、平成25年6月に同委員会より「緑の募金感謝状」が贈呈されました。

「キッズスポーツクリニック」への特別協賛

「スポーツを通じた青少年の健全育成」の趣旨に賛同し、アルビレックス新潟および新潟アルビレックスBBが開催する「キッズスポーツクリニック」への特別協賛を平成25年度より行っています。

アルビレックス新潟による「サッカー教室」は県内3会場、118名の保育園児が、新潟アルビレックスBBによる「バスケットボール教室」は県内5会場、206名の小学生が参加しました。



アルビレックス新潟のコーチ・スタッフによる保育園児・幼稚園児向けサッカー教室の様子



新潟アルビレックスBBの選手による小学生向けバスケットボール教室の様子

地域貢献への取り組み

「アルビレックス新潟」サッカー観戦チケットの寄贈

新潟県障害者スポーツ協会へ、サッカーJ1・アルビレックス新潟のホームゲーム招待券を寄贈しています。平成25年度は、計20試合、423名を招待しました。

JAバンク食農教育応援事業

JAバンクでは、平成20年度から子どもたちに食農教育等の取り組みを実践する「JAバンク食農教育応援事業」を展開しています。

この事業の一環として、子どもたちが食と環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、小学校高学年を主な対象として「農業と私たちの暮らし」と題した食農教育の補助教材本を県下の全小学校に贈呈しています。

また、JAによるさまざまな食農教育活動への助成も行っています。



食農教育補助教材本

「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛 県内在住留学生と県内への震災被災者の招待

地域の文化振興を応援するため、公益財団法人新潟県文化振興財団が主催する「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛を行っています。

なお、文化交流の振興を支援する目的から、県内在住留学生を公演に招待し、日本の伝統文化に触れてもらう活動にも取り組んでいます。平成25年度は計14カ国、111名の留学生を招待しました。

また、東日本大震災の影響で県外から新潟県内に避難されている方々も招待し、64名からご鑑賞いただきました。



文化情報誌「カルチャーにいがた」への協賛

県内の文化情報の発掘と発信を目的として、公益財団法人新潟県文化振興財団が発行する文化情報誌「カルチャーにいがた」に広告協賛を行っています。「愛する郷土の文化を広く紹介する」という趣旨に賛同しています。



文化情報誌「カルチャーにいがた」

「愛の献血」inJAバンク新潟県信連

新潟県赤十字血液センターのご協力により、平成11年度から継続的に団体献血を実施しています。平成25年度は年2回の献血を実施し、119名の職員が協力しました。



献血当日の様子

役職員のボランティア活動への参加・地域清掃活動

新潟市が主催する地域清掃活動に毎年参加しています。平成25年度は、各地で開催された清掃活動に合わせて126名の職員が参加しました。

地域行事への参加

「新潟まつり大民謡流し」等の地域行事に地域の一員として積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を大切にしています。

「協同組合まつり」等協同組合間提携による健康で豊かな地域社会づくり

生協、漁協、森林組合等と提携を結び、協同組合の一員として、生産者と消費者との強い結びつきによる安全・安心・安定的な食料生産と供給、そして調和のとれた美しく住みよい地域社会づくり、さらに環境問題等に取り組んでいます。

エコキャップ運動への参加

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

環境への取組み

ビル内のLED照明への切替えによる省エネ化を推進しています。また、業務車両へのエコカーの導入、「クールビズ」や「ノー残業デー」の実施など、地球温暖化防止対策、節電対応に積極的に取り組んでいます。

AED(自動体外式除細動器)の設置

事故や病気で突然心臓が止まった人に電気ショックを与え正常な心臓の動きを取り戻すための医療機器AED(自動体外式除細動器)をJAビル1階、4階および9階の合計3か所に設置し、万が一の救命処置に対応できるよう備えています。

■ 利用者ネットワーク化の取組み

お取引いただいている利用者の皆さまへの有益な情報の提供や利用者間の相互交流を深める目的で、様々な活動に取り組んでいます。

■ 融和会

当会の融資お取引先企業を会員として、会員相互の情報交換や異業種交流を目的に運営しています。県下一円を対象とした会であり、会員相互のネットワークづくりのお手伝いをしています。
(平成26年6月末現在の会員数:118社)

■ JA年金友の会

県内JAでは、年金友の会等、組合員および利用者の皆さまの相互交流や健康増進に向けた活動を行っています。

■ JA年金・ローン相談会

組合員および利用者の皆さまの生活設計のお手伝いをさせていただくために、各種相談会を定期的開催しています。